

平成 22 年仙台市の人口動向

人口の動向は、自然動態（出生及び死亡の動き）及び社会動態（転入及び転出の動き）によって説明されます。この特集は、平成 22 年 1 年間の仙台市の人口動向について、社会動態を中心に報告するものです。

利用上の注意

- ・本報告書で用いた地域区分は次のとおりです。

仙台都市圏内の他市町村：塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村

北海道地方：北海道

東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

東北 5 県は、東北地方から宮城県を除いた地域

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿地方：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※なお、本文中にある「その他の地方」は、特にことわりのない場合、上記のうち東北地方と東京圏を除いた地域をいいます。

用語の説明

- ・登録人口 = 住民基本台帳人口 + 外国人登録人口
- ・人口増加数 = 自然増加数 + 社会増加数
- ・自然増加数 = 出生数 - 死亡数
- ・社会増加数 = 転入数 - 転出数 + その他の増加数（職権記載・消除、国籍取得・喪失、転出取消等）

解 説

I 登録人口による人口動向

1 概 要

平成 22 年末の登録人口は 102 万 6490 人でした。

また、平成 22 年 1 年間の人口増加数は 3370 人となり、平成 21 年の人口増加数 2744 人に比べ 626 人増加となっています。その内訳は、自然増加数が 2033 人（対前年 393 人の減少）、社会増加数が 1337 人（対前年 1019 人の増加）となりました。（図 1、表 1、統計表第 1 表）

図 1 人口増加数の推移（平成 13 年～22 年）

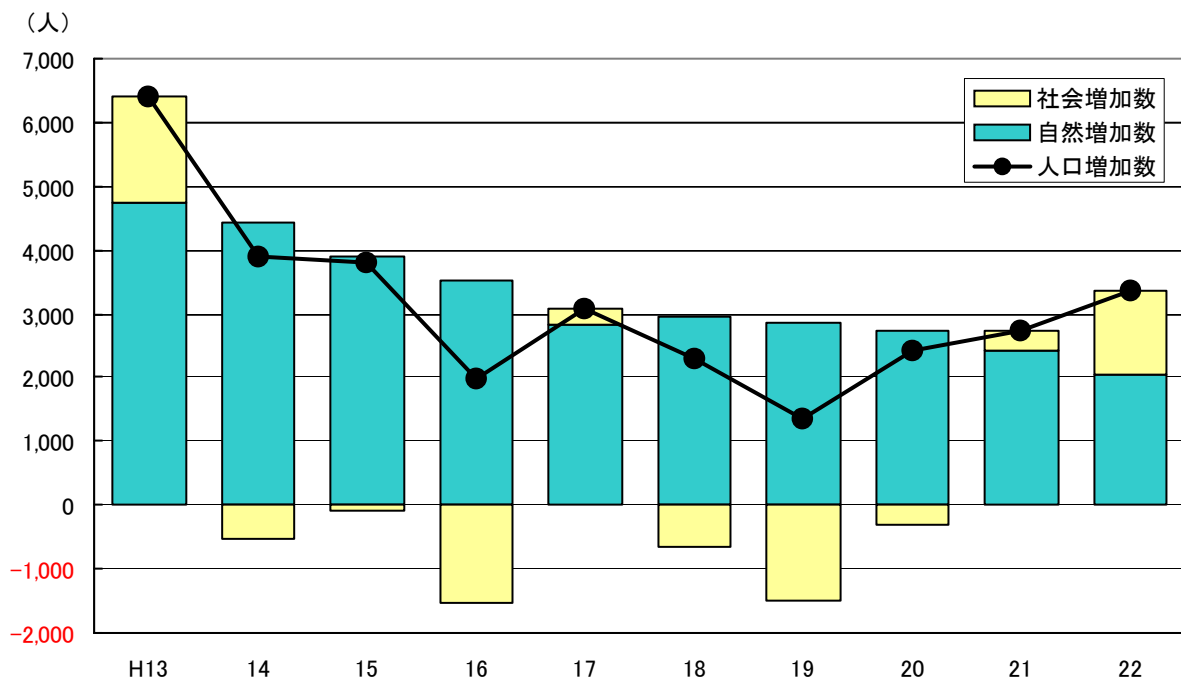


表 1 登録人口の推移—全市、区（平成 17 年～22 年）

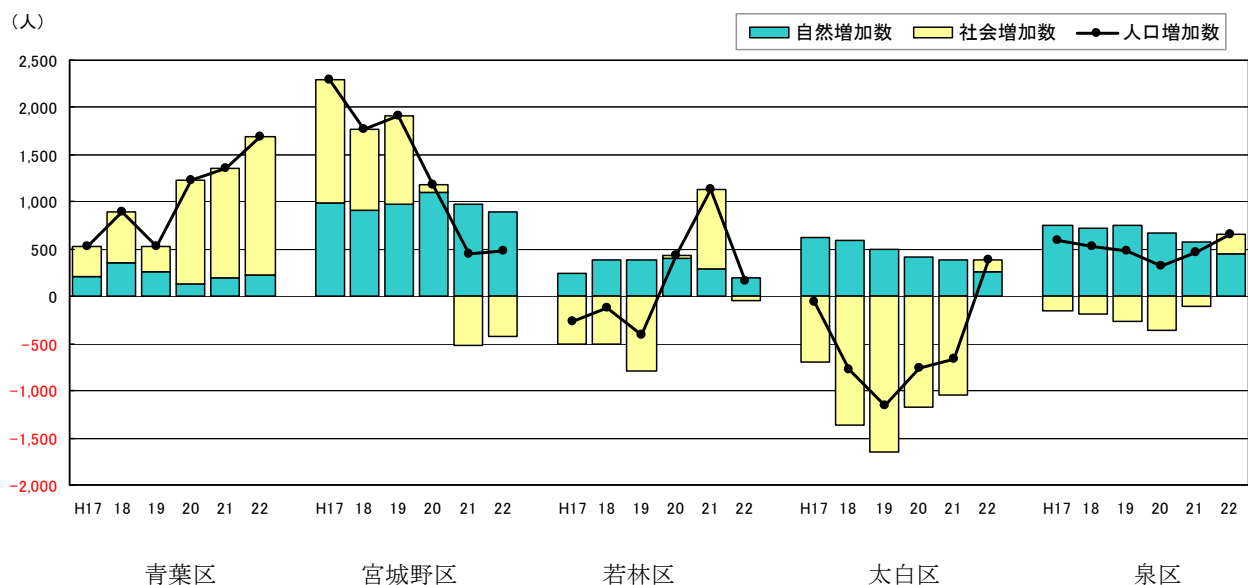
各年末（単位：人）

年次	仙台市	青葉区	うち		宮城野区	若林区	太白区	うち	
			宮城総合支所	秋保総合支所				泉区	
平成17年	1,014,322	273,952	64,392		180,007	127,998	222,564	4,726	209,801
18	1,016,611	274,843	65,498		181,774	127,879	221,783	4,661	210,332
19	1,017,967	275,377	66,499		183,682	127,466	220,628	4,674	210,814
20	1,020,376	276,603	67,572		184,863	127,906	219,871	4,609	211,133
21	1,023,120	277,952	68,260		185,316	129,042	219,210	4,541	211,600
22	1,026,490	279,641	68,758		185,789	129,202	219,602	4,404	212,256

区別の動向をみると、太白区が平成 15 年以來の人口増加に転じたことにより、全区において人口が増加しています。青葉区では人口増の拡大が続いている一方で、宮城野区、若林区では人口増ではあるものの社会減となっています。太白区では平成 13 年以來、泉区では平成 16 年以來の社会増に転じています。

人口増加数が最も多かったのは青葉区の 1689 人（自然増加数 228 人、社会増加数 1461 人）で、以下、泉区の 656 人（自然増加数 449 人、社会増加数 207 人）、宮城野区の 473 人（自然増加数 897 人、社会増加数△424 人）、太白区の 392 人（自然増加数 259 人、社会増加数 133 人）、若林区の 160 人（自然増加数 200 人、社会増加数△40 人）でした。（図 2、表 1、統計表第 1 表）

図 2 人口増加数の推移－区（平成 17～22 年）



2 自然動態

平成 22 年の出生数は前年より 32 人増加して 9434 人、死亡数は前年より 425 人増加して 7401 人となったことから、自然増加数は 2033 人となり、平成 21 年の 2426 人に比べ 393 人減少しました。（図 3、統計表第 1 表）

出生数はここ数年ほぼ横ばいで推移しているものの、死亡数は増加の傾向となっています。

区別の動向をみると、出生数は、太白区、泉区で減少したものの、すべての区においてほぼ前年と同程度となっています。死亡数は、すべての区で前年より増加しました。

自然増加数が最も多かったのは宮城野区の 897 人（出生数 2167 人、死亡数 1270 人）で、以下、泉区の 449 人（出生数 1739 人、死亡数 1290 人）、太白区の 259 人（出生数 1961 人、死亡数 1702 人）、青葉区の 228 人（出生数 2340 人、死亡数 2112 人）、若林区の 200 人（出生数 1227 人、死亡数 1027 人）でした。（図 4、統計表第 1 表）

図3 自然動態の推移—全市（平成13年～22年）

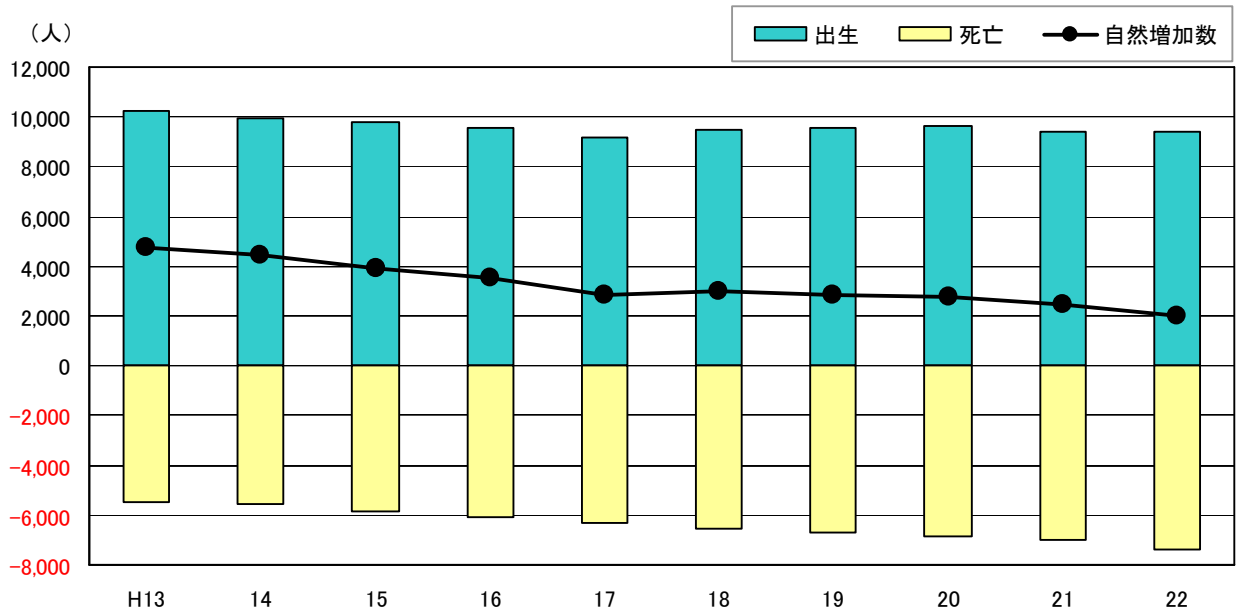
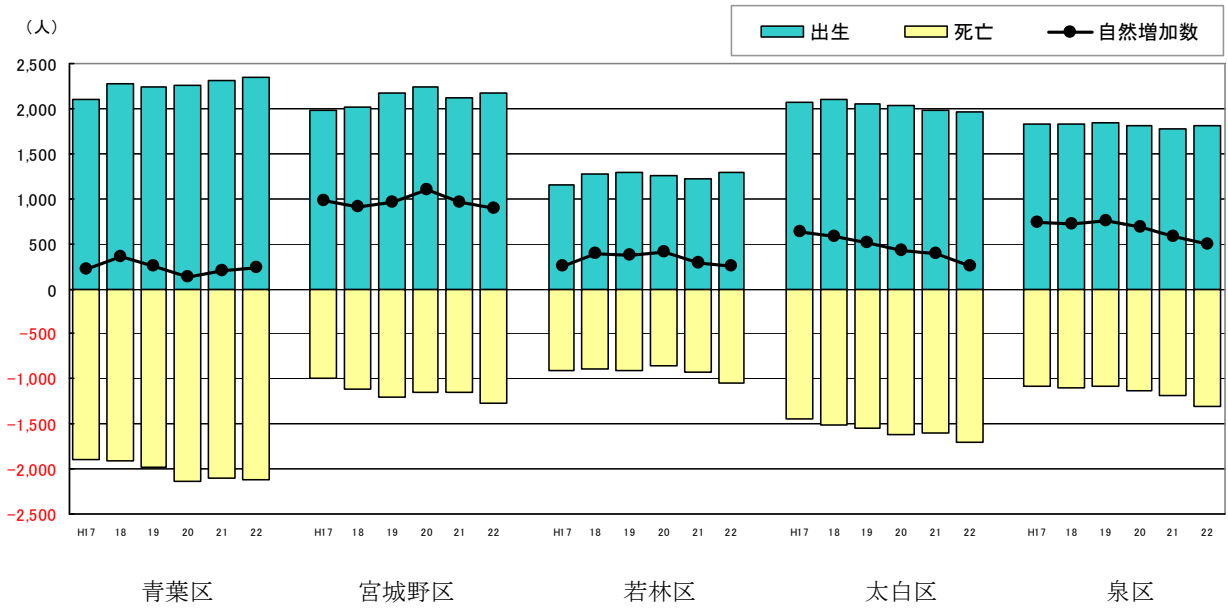


図4 自然動態の推移—区（平成17年～22年）



3 社会動態

平成 22 年の転入数は 6 万 7601 人で前年より 2837 人の減少、転出数は 6 万 6247 人と前年より 4082 人の減少、この結果、転入・転出数の差にその他増加数△17 人を加えた社会増加数は 1337 人となりました。

社会増加数の推移をみると、県内移動、県外・国外との移動がともに転入超過となるのは平成 13 年以来となります。

区別の動向をみると、青葉区、太白区で県内移動、県外・国外との移動がともに転入超過となりました。若林区、泉区では県内移動が転入超過、県外・国外との移動がともに転出超過となりました。宮城野区では県内移動、県外・国外との移動がともに転出超過となりました。

社会増加数が最も多かったのは青葉区の 1461 人（転入数 2 万 1433 人、転出数 1 万 9855 人、その他増加数△117 人）で、以下、泉区の 207 人（転入数 1 万 2095 人、転出数 1 万 1925 人、その他増加数 37 人）、太白区の 133 人（転入数 1 万 2041 人、転出数 1 万 1933 人、その他増加数 25 人）、若林区の△40 人（転入数 8728 人、転出数 8697 人、その他増加数△71 人）、宮城野区の△424 人（転入数 1 万 3304 人、転出数 1 万 3837 人、その他増加数 109 人）でした。

（図 5、統計表第 1 表）

図 5 社会増加数の推移—全市、区（平成 17 年～22 年）

